

## 沖縄と連帯し、オスプレイの配備、訓練を許さない地域からの大運動を (申し合わせ)

沖縄では、安倍政権の号令の下、辺野古新基地との連携も狙うヘリパッド=オスプレイパッドの年内完成にむけて強権的な工事がすすめられています。すでに出来上がったヘリパッドはオスプレイが深夜まで低空訓練を繰り返し、住民を恐怖に晒しています。このような暴挙を許さない全国連帯のたたかいが切実に求められています。

同時に、戦争法のもとで、日米軍事一体化がすすむ中、オスプレイの配備や低空飛行訓練が全国に拡大されようとしています。

首都圏・関東甲信越地方では最近、沖縄配備のMV22 オスプレイによる各基地・演習場への飛来と訓練が一層激しくなっています。

神奈川・横須賀基地は1973年以来、米空母の母港とされ、厚木基地周辺住民は艦載機訓練で重大な被害を受けてきました。また、静岡・山梨にまたがる米軍富士演習場や神奈川・厚木基地、東京・横田基地などにオスプレイの飛来、訓練が常態化し住民を危険に晒しています。

このような状況に加えて、2017年度から横田基地にオスプレイが配備され、1都8県に及ぶ「横田エリア」で訓練が行われれば、事故の危険と騒音被害は想像を絶するものとなります。さらに、木更津にオスプレイ整備工場が建設され、在日米軍オスプレイに加え、自衛隊購入予定のオスプレイ、さらにアジア太平洋地域に配備されている米軍のオスプレイが利用することになれば、今でも「横田エリア」によって旅客機が集中する首都圏・東京湾上空はいっそう危険な状況になります。

このように、アメリカの軍事戦略のために、首都圏・関東甲信越地方の数千万人の命の安全、平穏な生活を犠牲にすることは断じて許されません。

いまこそ、地域住民とともに、自治体ぐるみで運動に立ち上がり、命と暮らしを守る取り組みを大きく広げましょう。

- ①沖縄のたたかいと連帯して、高江・辺野古の新基地建設を許さず、オスプレイの配備撤回の運動を広げましょう。
- ②全国へのオスプレイ配備、低空訓練、整備工場建設に反対し、配備撤回を求める政府・自治体への申し入れ、自治体議会意見書採択など、地域ぐるみでの運動を広げましょう。関東甲信越各地の運動を交流し、連帯して運動を大きく発展させましょう。

2016年11月7日

沖縄と連帯、オスプレイの低空訓練に反対し配備撤回を求める院内集会